

令和6年度全国学力・学習状況調査結果 説明資料

令和6年（2024年）9月20日

札幌市立東川下小学校

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、札幌市教育委員会より調査結果の概要が発表されました。これを受けて、本校の結果の概要についてお知らせします。この調査結果は6年生の結果ではありますが、他の学年にも共通する学校全体の結果として捉え、今後の指導改善に生かしていきます。

1. 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性

国 語

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

学習指導要領の内容

【知識及び技能】

■言葉の特徴や使い方に 関する事項

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

■情報の扱い方に関する 事項

- ・全国平均を下回る。

■我が国の言語文化に 関する事項

- ・全国平均を下回る。

【思考力、判断力、表現力等】

■話すこと・聞くこと

- ・全国平均を下回る。

■書くこと

- ・全国平均を下回る。

■読むこと

- ・全国平均を下回る。

評価の観点

■知識・技能

- ・全国平均を下回る。

■思考・判断・表現

- ・全国平均を下回る。

- 目的や意図に応じて話題を決め、伝える内容を考えること。

- 話すために集めた材料を分類したり関係付けたりすること。

- 情報と情報の関係付けの仕方を理解すること。

- 登場人物の関係や心情を、描写を基に捉えること。

- 日常的に読書に親しみ、自分の考えを広げること。

- 話合いの目的や聞き手が求めていることを知り、話の流れを予想して考える学習展開の工夫。

- 学習活動を振り返ったり、情報を整理することのよさを考えたりする学習の充実。

- 伝えたいことをメモしたり、語句と語句を線で結び関係を表したりして、自分の考えを整理しまとめる学習の充実。

- 教師が問いを投げかけたり、友達との交流を促したりして、登場人物の行動や様子、変化に着目しやすくする指導の工夫。

- 読書によって今までになかった考えを発見したり、お気に入りの言葉を見付けたりして、自分の考えが広がっていくことを実感できる学習の充実。

算 数

本校の概要

学習指導要領の内容

■数と計算

- ・全国平均を下回る。

■図形

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

■変化と関係

- ・全国平均を下回る。

■データの活用

- ・全国平均を下回る。

評価の観点

■知識・技能

- ・全国平均を下回る。

■思考・判断・表現

- ・全国平均を下回る。

今回の調査における課題

- 計算の性質を活用して、計算の仕方を考え、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
- 整数÷小数の、わる数と商の大きさの関係について理解すること。
- 整数÷小数を正しく計算すること。
- 速さの意味を理解すること。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて記述すること。

改善の方向

- 場面を式に表したり、式の表す場面を考えたりして、場面と式を関連付ける指導の工夫。
- 数量の関係を図や式を用いて場面と関連付けて捉え、計算の性質を活用して工夫する学習の充実。
- 計算の性質を活用しながら、式と答えの意味を理解する学習の充実。また、基本的な四則計算の習熟。
- 速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方を理解する指導の工夫。
- 求めた速さや求め方を式に表し、速さの意味を考える学習の充実。
- データを読み取って捉えたことを伝え合ったり、考えたことを記述したりする活動の充実。

2. 児童質問調査の結果概要

- ・子どもたちの自己肯定感は、全国平均と比較して高い傾向にあります。
- ・授業で ICT 機器を使用する機会は全国平均より多いです。しかし、ICT 機器を活用して考えをまとめたり伝えたりすることに課題があります。
- ・授業において考えを話し合うこと、発表すること、学習を振り返ることができるという回答が少ないです。主体的に学ぶ授業になるよう努めます。
- ・就寝時刻が日によって異なるという回答が多いです。また、ゲームや動画視聴の時間が全国平均を大きく上回っています。お子さんの健康のため、生活習慣を見直すことが大切です。

■全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの

- (9) 自分には、よいところがあると思いますか。
- (27) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。
- (28-7) (5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどの ICT 機器を活用して)友達と協力しながら学習を進めることができる。
- (42) 国語の勉強は好きですか。
- (61) 英語の勉強は好きですか。

学習の中で ICT 機器を使用する場面は徐々に増えています。例えば、1つのデータを複数の友達で編集する機能を活用して、学習の充実を図っています。効果的な使い方について教職員研修を継続し、よりよい学びになるよう取り組んでいきます。

国語を「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合は、全国平均を2ポイント上回りました。「好き」と答えた割合は同13.9ポイント上回っており、国語好きという結果が顕著に表れました。

■全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの

- (38) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- (39) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- (46) 国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか。
- (47) 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか。

課題解決のために粘り強く考える、話し合う、発表する、学習を振り返るといった点が課題となっています。また、国語の勉強が好きな児童の割合は多いものの、学習の仕方に課題があります。課題解決的な学習を充実させ、学ぶ力を伸ばしていきます。

また、自分たちの生活をよりよくするための自治的な活動の充実も図ります。